

箱型擁壁工法

設計・施工マニュアル

正誤表

誤	正
<p>第1章 総説 P1 解説文の上から8行目以降</p> <p>また、箱型擁壁の性能に影響を及ぼすと考えられる箱型擁壁に取付けられる防護柵や遮音壁等の付帯構造物の基本的な考え方、一般的な技術的事項についても併せて示す。</p>	<p>また、箱型擁壁の性能に影響を及ぼすと考えられる箱型擁壁に取付けられる防護柵の基本的な考え方、一般的な技術的事項についても併せて示す。</p>
<p>第4章 4.1.1 設計の考え方 P59 解説文1行目</p> <p>3) 排水工、付帯設備の検討</p>	<p>3) 耐久性</p> <p>箱型擁壁に使用する鉄筋コンクリート部材は、一般的な環境条件において耐用期間中の劣化作用等に十分に耐え、その性能を確保していることを検討する。</p> <p>4) 排水工、付帯設備の検討</p>
<p>第5章 5.4.3 裏込材・充填材・連結材</p> <p>P91 下から3行目</p> <p>(例；C40の場合、100mm以上の離れを設ける)</p>	<p>(例；S-40の場合、100mm以上の離れを設ける)</p>